

通信ネットワーク実習 3 練習問題 13

問 1

以下の問に答えよ。

1-a) ローマ字とピリオドと使ったホストを一意に示す名前をなんと言うか答えよ。

1-b) 1-a) をそのホストの IP アドレスに変換する機能を分散データベースにより実現している仕組みをなんと言うか、アルファベットの略称で答えよ。

1-c) 日本 (jp) の学術機関 (ac) の東海大学 (u-tokai) の通信ネットワーク工学科 (jt) の山本研究室 (yamamotolab) の sirius というホストを示す 1-a) の名前を書け。

解答欄

1-a:	1-b:
1-c:	

問 2

DNS の階層構造が図 1 であるとする。ホスト A はルートネームサーバ、B は kusa.ac.jp ドメインの権限をもつネームサーバ、C は ietf.org ドメインの権限を A から委任されてもつネームサーバとする。pepper, piyo は kusa.ac.jp ドメインのホストとし、問い合わせに使うネームサーバとして事前に B が登録されているとする。以下の問に答えよ

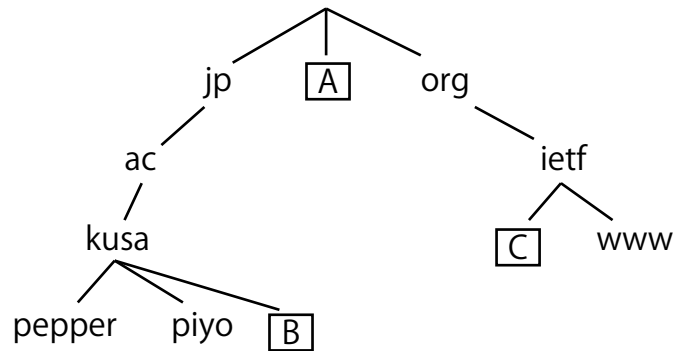


図 1. DNS の階層

- pepper.kusa.ac.jp が www.ietf.org の IP アドレスを得る手順は以下の通りである。以下の空欄に最も当てはまる語句を選択肢から選び、記号で答えよ。同じものを複数回選んでもよい。
 1. pepper が 2-a に www.ietf.org の IP アドレスを問い合わせる
 2. 2-b は 2-c に 2-d の IP アドレスを問い合わせる
 3. 2-e は 2-f に 2-g の IP アドレスを返す
 4. 2-h は 2-i に 2-j の IP アドレスを問い合わせる
 5. 2-k は 2-l に 2-m の IP アドレスを返す
 6. 2-n は 2-o に 2-p の IP アドレスを返す
- pepper.kusa.ac.jp が piyo.kusa.ac.jp の IP アドレスを問い合わせるとき、呼び出されるネームサーバーすべてを選択肢から選んで記号で解答欄 2-q に書け。

選択肢：ア. A, イ. B, ウ. C, エ. jp, オ. ac.jp, カ. kusa.ac.jp, キ. pepper.kusa.ac.jp, ク. piyo.kusa.ac.jp, ケ. org, コ. ietf.org, サ. www.ietf.org

解答欄

2-a:	2-b:	2-c:	2-d:	2-e:	2-f:	2-g:
2-h:	2-i:	2-j:	2-k:	2-l:	2-m:	2-n:
2-o:	2-p:	2-q:				